

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：平成31年1月19日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌宮の森校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			個別療育としては適切なスペースの個室等を整備し療育を行っていると考えています。
	②	職員の配置数は適切であるか	4			法令等を遵守して職員を配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4			マンツーマン療育であるため、個室での活動を基本としており、個別支援を行う事業所として適切であると考えています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4			全てのスタッフは、日ごろからモニタリング会議、運営会議、朝・終礼などを通して、PDCA サイクルに参画しています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			H30.4 開設の当事業所として、初めての事業者評価を実施しているところです。今後、保護者等の評価の集計・解析を踏まえ、更なる業務改善に努めてまいります。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			4	H30.4 開設の当事業所として、はじめて事業者評価を実施しているところです。評価がまとまりしい内容等を事業所ホームページ等に公開します。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			4	H30.4 開設の当事業所として、外部評価は未実施ですが、今後法令等に則り適切に対処いたします。
適切な支援の提供	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			新人へは合計 40 時間以上に及び初任者研修、その後も定例の事例検討会、随時の内・外部研修等を行っています。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			法令に則り、或いはそれ以上の頻度でアセスメントを行い、個別支援計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			個別支援計画を基準として、目標に対する進捗状況や療育の効果など視点を統一・標準化してアセスメントを実施しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			個別支援計画に沿って、モニタリング会議や日ごろのスタッフミーティングなどを通して活動プログラムを立案しています。

	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4		計画に沿ったプログラムを基本として、目標への進捗状況や利用者の特性及びその日の心理状態などに応じて工夫した活動プログラムとしています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4		常に利用者、保護者と意思疎通を図りながら、利用者の状態や保護者の意向などを踏まえて支援を行っています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		4	当事業所は、個別療育専門であるため集団療育は行っていませんが、月1回程度開催するイベントで小集団療育も取り入れています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4		毎日の朝礼・終礼及び随時行うスタッフミーティングにおいて、その日及び翌日の支援内容やサポート体制などを確認しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4		毎日の終礼及び随時行うスタッフミーティングで、支援の振り返りや留意事項などを共有しています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4		支援記録の作成を徹底しています。これを元にモニタリングなどを行い支援の検証・改善を行っています。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4		3～5か月ごとに又は必要の都度、モニタリング会議を開き計画の見直しの判断を行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4		利用者の状態や保護者の意向などを踏まえて、複数の基本活動を合わせて療育を進めています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4		招請された場合は担当指導員又は児発管が参画しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4		個人情報保護などの観点から、保護者からの要望や同意があれば、対応を行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4		個人情報保護などの観点から、保護者からの要望があれば、対応を行っています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4		個人情報保護などの観点から、保護者からの要望があれば、対応を行っています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4		保護者からの要望・同意があれば積極的に対応します。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4		一般社団法人発達支援研究所などから助言や研修を受けています。

者との連携	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			4	完全個別療育を行う事業所であるため、児童館などの交流はありませんが、当事業所が主催するイベント（小集団療育）で、学校などのお友達も参加できることとしています。
	②⑦	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			4	一般社団法人児童発達支援連絡協議会に参加しています。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			療育終了後、毎回保護者と情報共有を図るとともに、普段来所できない保護者には、電話や手紙、療育日以外の日に来所いただくなど共通理解を図っています。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		4		当該トレーニングは行っていませんが、必要がある保護者には同等の内容の支援を行っています。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			利用契約時の重要事項説明の際に、丁寧にご説明しています。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			毎回療育後、保護者からの相談に応じているとともに、ご要望があれば電話相談、療育とは別の日時での面談にも対応し、必要な助言などを行っています。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4			完全個別療育であるため保護者会などの活動は行っておらず、またご要望もありません。その代わりではありませんが、年1～2回、児童心理学者などの専門家をお招きし、茶話会(希望者)を開き、父母間の情報共有や共感づくりに努めています。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			利用契約時に、開所時間はいつでも苦情を受けることを伝え、あった場合は迅速かつ適切に対応するとともに、報告書を残し再発防止に努めています。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			毎月2回程度ブログを更新、必要があればチラシやお便りを作成・配布し、活動概要や行事予定を発信しています。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	4			法令等に則り適正に管理を行っています。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			利用者等の特性に配慮した情報伝達などを行っています。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			4	地域住民との交流はありません。集団療育であれば地域との関わりにメリットはあると思いますが、当教室は1日1時間の個別療を行っていることから、地域住民等との交流にメリットは見いだせず、時間的な無理があります。

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4			消防・防災計画を策定し、毎月想定を変えて避難訓練などを実施しています。保護者には、契約時に警報発令時や地震等発生時の対応について周知を行っています。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			消防・防災計画を策定し、毎月想定を変えて避難訓練などを実施しています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			身体拘束を含む虐待防止を図るための職員研修を年1回以上行っています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4			これまでのところ、身体拘束の必要性が想定される利用者の受け入れを行っておらず、これまでもこれからも一切の身体拘束は行いません。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			4	事業所からの飲食の提供はないため、特段の対応は行っていません。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			H30.4 開設以来、指導員が常に細心の注意を払って対応しているため、事例は極少数ではありますが事例集を作成し、全スタッフが情報を共有して再発防止に努めています。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表：平成31年1月19日

事業所名 クラ・ゼミ札幌宮の森校 保護者等数（児童数）26名 回収数 21（うち1名白紙） 割合 80.8%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	2	2	保：狭い ク：集団療育を経験されている保護者様には狭いと感じられるかもしれませんが、個別指導の教室としては必要十分なスペースであると考えています。 保：相談スペースで療育を行う場合、パーテーションで仕切るなど、子どもの集中力への配慮が必要。 ク：相談スペースをパーテーションで仕切ることを含め集中力への配慮については他の保護者様からもご意見をお聴きした上で適切に対応いたします。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	16	3	1	
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	7	2	
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	19	1	0	意：保護者から病院や学校からの助言を伝えて、計画に盛り込んでくれたり、指導員から提案していただくこともあり満足している。 ク：今後とも、さらに満足いただけるようなサービス提供に努めてまいります。
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	15	5	0	保：保護者から病院や学校からの助言を伝えて、計画に盛り込んでくれたり、指導員から提案していただくこともあり満足している。 ク：さらに満足していただけるよう、引き続き療育の質の向上に努めてまいります。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	10	8	保：個別療育なので、保護者として特に希望なし。 保：個別対応なので必要ないと思う。 ク：集団療育であれば交流のメリットはあると思いますが、当教室は1回1時間の個別療育であるため双方にとって交流のメリットが見いだせないばかりか、時間的な余裕もないため、今後も交流活動は考えていません。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20	0	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	17	3	0	
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	5	0	保：支援者会議に出席していただきました。 ク：支援者会議は、ご要望や招請があれば担当指導員又は児発管が出席いたします。

	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	5	5	保：講師の先生がいたので交流会は参考になり、発見もあって有意義だった。 ク：個別療育のため、保護者会などは行っていませんが、年に1～2回希望者の募り、児童心理学などの専門家参加の茶話会を開催しています。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	8	0	保：利用する機会がなかったのわからない。 ク：法令等に則り適切に対応しています。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	3	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13	6	1	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	18	1	1	
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	15	3	2	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	7	4	保：うちの子も避難訓練に参加させたい。 ク：ほぼ毎月避難訓練は実施していますが、個別療育のため全員に参加していただくことは困難ですが、次回以降の避難訓練を計画する際には、参加希望者を募り、希望者の療育時間に避難訓練を行おうと考えています。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	18	2	0	
	⑱	事業所の支援に満足しているか	16	4	0	保：担当指導員の変更が多いので善処を。 ク：一時期、指導員の退職や病休などでご迷惑をおかけした時期があり、大変申し訳なく思っております。現在は安定しておりそのようなことにはなりませんのでご安心ください。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。